



京都 YWCA

9 2024

YWCAは、キリスト教を基盤に、世界中の女性が言語や文化の壁を越えて力を合わせ、女性の社会参画を進め、人権や健康や環境が守られる平和な世界を実現する国際NGOです。

あなたは言葉を持っているだろうか —水俣・京都展開催に先立って—

京都 YWCA は 12 月に京都で開かれる水俣展の協賛団体となりましたが、平和・環境活動委員会では学習会「カフェフリーデン」として、7月6日に京都水俣展の主催者である水俣フォーラム理事長の実川悠太さんを講師にお迎えしてお話を聞き、実川さんより本紙に寄稿いただきました。

今から半世紀ほど前の 1972 年 6 月、スウェーデンの首都ストックホルムで、国連人間環境会議が開かれました。

世界中から大統領や首相、担当大臣が出席して、初めて環境問題について話し合った歴史的な会議で、20 年後の 92 年にはブラジルのリオデジャネイロで、02 年は南アフリカのヨハネスブルクと会議は継続されました。

国連がこの大がかりな国際会議を開催するきっかけになったのはレイチェル・カーソンの名著『沈黙の春』の影響がありました。この中でカーソンは、農薬の使用によって鳥のさえずりさえ聞こえなくなってしまった春を、悲しみと怒りを込めて描いています。人類の生産活動が、生物の生存を脅かしていることに初めて気付かされたのでした。ですから会議の主題には、鳥類の保護などが挙げられていました。

当時、原因企業のチッソ¹を相手取って裁判や自主交渉をしていた水俣病患者たちは、この会議が開かれたストックホルムを、海外からの支援を訴えるために不自由な身体をおして訪ねたのです。その姿は、新聞やテレビを通じて、初めて世界中に伝えられました。ことは鳥にとどまらなかったのです。すでに、人間自身の体を元に戻せないほど傷つけ、命さえ奪う環境汚染。この事実は、世界の人々に強いショックを与えました。

この時から、水俣病は国内のみならず、世界中の人々にとって「環境被害の象徴」となりました。日本は決してうれしくない「世界初」をさらに加えてしまったわけです。

一方、「東西ドイツ」を隔てていた壁が壊されたとき、多くのメディアが競って戦後ドイツの歩みを紹介しました。その中で、ナチスがもたらした悲劇を繰り返さないために、子

どものころから歴史教育が行われ、どうしてそうなったのか、どうすれば避けられるかについて、小学生でも語る言葉を持っている姿が紹介されました。

はたして私たちは、水俣病について、もしくは水俣病に象徴されるものについて、どのような言葉を持ち合わせているのでしょうか。このような問題意識が、私たち水俣フォーラムの活動の根底にあります。

1996 年の東京展を皮切りに 1 都 1 府 1 道 16 県の計 26 会場で「水俣展」を計 379 日開催して、16 万人を越す入場者を得てきましたが、近畿圏では 18 年ぶり、京都では初めての開催となります。京都 YWCA をはじめ、困難な社会的課題に取り組んできた方々の協賛と協力を得て、12 月 7 日（土）から 22 日（日）までの 16 日間、500 人の水俣病患者の遺影とともに、みやこめっせで皆様のお越しをお待ちしています。

(水俣フォーラム 実川 悠太)



講演される実川さん（写真中央）

【水俣・京都展】

会期：2024 年 12 月 7 日 [土]～12 月 22 日 [日]

時間：午前 9 時 30 分～午後 5 時

会場：京都市勧業館みやこめっせ

主催：認定 NPO 法人 水俣フォーラム

*詳細は QR コードよりご覧ください。



1 チッソ株式会社

日本 YWCA 主催のユースギャザリングで 話題提供をしました

7月20日に行われた日本YWCA主催ユースギャザリングに、京都YWCAユース委員会が話題提供者として参加しました。この会の目的は、ユース同士の交流を活性化し、YWCAで活動する日本全国のユースを繋げることです。実際に、ユース委員会の活動内容全般を全国のユースに知ってもらい、かつ体験してもらうまたとない機会になりました。

今回のギャザリングでは、ユース委員会の主な活動である「夜かふえ」「YここKitchenコラボ」「Rise Up! Workshop」の活動説明に加えて、参加者が「夜かふえ」を体験する時間を設けました。夜かふえ体験では「アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）」をテーマに、「日常のもやもや経験」についてオープンに話し合いました。

YWCAのセーフスペースについてのルールの遵守はもとより、今回は初対面でありながら話し易さを追求するためにZoomのアバター機能の導入も試みました。この機能は簡単な操作で利用できることから、今後も活用できそうです。参加者からは、「新たな気づきがあった」と

いった感想をもらえ、私も主催側としてユースの新しい出会いや各々の体験共有ができる場を生み出せたことを嬉しく思っています。

今後のギャザリングでは、ユース参加者同士がSNSなどを通して長期的に関係を構築できるようなプログラムを構想していきます。京都YWCAユース委員の活躍を機関誌やユース委員会のSNSを通して発信していきますので、ぜひご覧ください。（中田 茉衣）



SNSにて活動報告を行っています

第3期 LA 多様な人々が集う居場所づくり連続学習会① 改めて考える「セーフスペース」って何？に参加して

6月22日、横浜YWCAの倉戸ミカさんを講師に迎えて、横浜YWCAとオンラインでつないで「セーフスペース」について考える学習会を開催した。世界YWCAがあげるセーフスペースの10の要素を中心に話し合ったが、自分の言葉で説明できない項目が少なからずあり、これからも、継続して学んでいく必要を感じている。

私にとって「セーフスペース」とは「リラックスして、ありのままの自分でいられるところ」だ。YWCAの「セーフスペースルール」に「『私は〜』を主語にして話しましょう」という項目がある。一人称で語ることは自分だけでなく他者をも大切にすることに繋がり、多様性を歓迎する素地となる。100人が1冊の同じ本を読むとき、100様の読み方があるのは自然なことだ。それぞれの感受性を大切に、一人ひとりが感じるままに表現できる空間を作るには？専門知識の有無に関わらず、誰もが自分ができることはあるはずだ。主催する側とされる側という壁は作りたくはないし、高齢者とか、既婚か否かなどの属性からも離れ、ただ一人の「私」として存在したい。正解を求めることにこだわらずに、一緒に考えたり、迷っ

たり、たとえ言葉を発しなくても、表情やたたくまいで存在感を示すこともあるだろう。私が関わっている「手話かふえ」も、コミュニケーションを通して、互いを尊重し合う、多様な方々の居場所となっている。大切にしていることは、全員参加型で歩むことである。そこに集うそれぞれの「私」が「鎧を脱ぐ」とまではいなくても、「鎧の紐を緩めてもいいかな？」と思えば、まず第一歩は、合格である。これからも皆さんと「セーフスペース」について学び語り合いたい。（御前 明美）



「セーフスペース」について熱心に語り合いました

活動グループ紹介シリーズ② ピアカウンセリンググループ・シャローム

京都YWCAで1980年代に開催された心理講座の企画者と講座受講者の有志が、ピアカウンセラーを目指して1985年にピアカウンセリンググループ・シャロームを発足しました。毎月、次のプログラムを実施しています。

〈しゃべり場（月1回）〉

しゃべり場は、参加者が日常生活の中で起こる様々なストレスや悩みを話すことで、自分の内にある感情に気付き、自ら問題を解決できるよう、仲間として支え合う事を目的に開いています。この場で話された内容は誰にも口外しない条件ですが、誰でも参加できるオープンな場です。

〈ストレッチ（月2回）とウォーキング（月1回）〉

こころと身体は互いに影響しあっています。身体の緊張やこわばり、歪みをストレッチで改善し、バランスのとれた身体とこころを整えることを目指しています。

ウォーキングは、ストレッチのメンバーの中の希望者が参加しています。正しい姿勢で歩くための身体作りや、個々の身体のあり方に気付くプログラムです。現在の参

加者はストレッチに10名（講師含む）、ウォーキングに6名（講師含む）で、講師はシャロームのメンバーの一人です。

参加者もシャロームのメンバー3名も皆高齢になり、若い頃はどちらかといえばこころの問題解決に重きが置かれていましたが、今は身体の機能を落とさずに維持して、生き生きと生活できるためにもストレッチクラスを続ける重要性を痛感しています。

シャロームの活動は、参加者がこころと身体を整え、になりたい私になることを応援しています。（小椋 美恵子）



シャロームのメンバーたち

オープン10周年 シリーズ「うららかふえ」こぼれ話③

☕ コーヒーとコーヒーメーカーたちのこと ☕

うららかふえのフェアトレードコーヒー

当初より東ティモール産フェアトレードのオーガニックコーヒーを使っています。オープン1周年の頃に業者さんからお話を聞きました。当時、インドネシアから独立数年の小さな国、東ティモールの主要産業であるコーヒー産業について興味深いお話を伺いました。

アイスコーヒーは、対等な交易でつながりと信頼を広げることが紛争の抑制、平和の形成に寄与すると考えるNGO パルシックから東ティモール産のものを提供しています。最近では小さな特色ある独立コーヒー店が増えましたが、うららかふえではおいしくいただいて国際協力につながることを考えています。

現在コーヒー価格300円。今どきお店に入って300円のコーヒーはとても貴重です。ぜひ外に向かって大きくPRしたいです。暑い中「オーガニックアイスコーヒーやってます、冷えています!!」と書いたのぼりなど出たくなります。

コーヒーメーカー

昨年、なんと8年間走り続けてきた初代コーヒーメーカーの調子が悪くなり、2代目の新しいメーカーに変わりました。外見もステキで多機能の賢いメーカーですが、使いこなすのにちょっと手間が要りました。美味しいコーヒー豆でエスプレッソ、カプチーノがメニューとして提供できたら良いのですが、道半ばです。これからも喫茶充実が課題です。みなさま、良いアイデアがあれば教えてください。京の名水、梨木神社や銅駝の湧水の使用とか。そしてやっぱり小さなお菓子があれば嬉しい限りです 😊

（青野 美佐江）



初代コーヒーメーカー
お疲れ様

今後のプログラム

◎多様な人々で集う屋下がりの居場所シンポジウム

- 日 時：10月5日(土) 13:00～15:15
■場 所：横浜・京都・福岡YWCA およびオンライン
■費 用：活動を応援参加チケット：1,000円
■申 込：9月17日(金)までに必ずQRコード
■内 容：多文化共生・グリーンサポート・シニア



◎プチマルシェ

- 日 時：10月19日(土) 10:30～14:30
■場 所：京都YWCA本館・うららかふえ
■テーマ：「地球にやさしい人とのものをつなぐ」
■内 容：リサイクル品・手作り品・作業所の自主製品

◎第11回 京都YWCA あじさいプロギング

- 日 時：10月20日(日) 10:00～11:00
■場 所：賀茂川周辺 集合：出町柳駅・ロッテリア前
■参加費：①小学生以下無料 ②中学生以上500円(保険料込み)
■申 込：京都YWCA受付にて
■主 催：京都YWCA運営委員会

◎子育ておはなしかい

- 子どもを育てている方はどなたでもご参加ください。
■日 時：2024年9月28日(土) 13:00～14:30
■場 所：京都YWCAサマリア館「うららかふえ」
■ゲスト：室紀子さん
■参加費：500円(お茶&お菓子付き)
■申 込：保育希望の方は9月20日(金)までに京都YWCA事務局にご連絡ください。

◎あきまつり 2024

- 子どもも、おとなも、よっといで！みんなで秋の午後を楽しもうよ！
■日 時：2024年11月17日(日) 13:30～16:30
■場 所：京都YWCA
■参加費：親子(子どもとおとな各1名)1,000円
■内 容：聴くだけじゃない音楽会、親子のリズム遊び体験

ご協力ありがとうございました

2024年6月1日から年7月31日までの寄付者一覧(敬称略、順不同)

各指定寄付

- *法人支援
*活動総務
*親・子育て支援活動委員会
*多文化共生委員会
*APT
*平和・環境活動委員会
*活動グループ
*ふれあいの「居場所」事業部委員会
*自立援助ホーム「カルーナ」
*賛助費

Advertisement for TMS HG (株式会社 ティ・エム・エス) featuring environmental support services and contact information.

7・8月/理事会報告

- 定款が一部改正され、新理事会体制を7月よりスタート
●コンプライアンス委員会規定を作成し相談窓口を設ける
●7/20：プロギング(ゴミ拾いとウォーキング)をYWCA周辺にて実施
●8/16：大文字送り火を見る集い開催

- 所食堂「YここKitchen」
●8/21：小学生居場所プログラムガジュマルの樹「夏休みディアウト」実施
●うららかふえ10周年記念企画と準備を進めている

Publication information for KYOTO YWCA No.582, 2024年9月号 (9月1日発行), including contact details and subscription rates.